

## Stage5

### Be Quiet!

静かに！

作・ジャンヌ・ウィリス

絵・ベッキー・ブレーク

#### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・ページをパラパラとめくって絵を見ましょう。農場のことや、農場からはどんな物音が聞こえてきそうか話しましょう。

#### <読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにながしてあげてもいいでしょう：

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

#### <ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

friends 友だち

please どうぞ

laughed 笑った

asked たずねた

noisy うるさい

grumpy 気むずかしい

MacDonald マクドナルド

quiet 静かな

[p. 1]

静かに！

作・ジャンヌ・ウィリス

絵・ベッキー・ブレーク

[p. 2]

マクドナルドじいさんは農場を持っていました。

[p. 3]

マクドナルドじいさんはとても歳をとっていき、そしてとても気むずかしくなっていました。

[p. 4]

「どうしてそんなに気むずかしいんだい？」、じいさんの友だちがたずねました。「おまえさん、この土地でいちばんいい農場を持っているのに」

[p. 5]

「やかまし過ぎるわい!」、マクドナルドじいさんは言いました。

[p. 6]

「コケッコー」、オンドリが鳴きました。

「ワン、ワン」、イヌがほえました。

「静かにせんか!」、マクドナルドじいさんは言いました。

[p. 7]

「モー」、ウシが鳴きました。

「コッコツ、コッコツ」メンドリが鳴きました。

「ブルン、ブルン」、トラクターが音をたてました。

[p. 8]

「静かにせんか!」、マクドナルドじいさんはさげびました。

「もしまた言わせるようなら、わしは出ていくからな!」

農場は静かになりました。だれも音をたてようとするものはいませんでした。

[p. 9]

オンドリはときをつげませんでした…… そのためマクドナルドじいさんは朝寝坊してしまいました。

<ゲーゲーゲー>

[p. 10]

イヌはほえませんでした…… そのためヒツジは迷子になりました。

[p. 11]

ウシはモーと鳴きませんでした…… そのためミルクはとれませんでした。

[p. 12]

メンドリはコッコツと鳴かなきませんでした…… そのため卵はとれませんでした。

[p. 13]

トラクターは納屋に入ったままでした。

畑は耕されませんでした。

トウモロコシは植えつけられませんでした。

[p. 14]

「牛乳無し? 卵無し? トウモロコシ無し? それじゃ農園をやっていけないじゃない」、娘のマクドナルドが言いました。「わたしが代わって経営しようか?」

[p. 15]

「ああ、頼むよ!」、マクドナルドじいさんは笑いました。「ワーイ! さあ、やりたいことがぜんぶできるぞ……」

[p. 16]

「静かに！」

<キーッ！>

……バグパイプを習うとか」

「おとうさん？」娘のマクドナルドは言いました。「静かにして！」

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問を試してみましょう：

- ・どうしてマクドナルドじいさんは農場を離れたかったんだろう？
- ・農場のすべてのものが静かになったとき、どんなことが起こった？
- ・この本を読んでどう思った？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

この本のことをくりかえし話題にしましょう。お子さんに想像力をはたらかせるよう励ましてください！ 娘さんが経営するマクドナルド農場に次はどんなことが起こるでしょうか？

『マクドナルド爺さんの農場』という歌をお子さんと歌ってもいいですね。